

# 小田原城わくわく音の祭典

# 音



音に~たくす~思い

おだわらフェスティバル

10月15日（土）～10月16日（日）

## 小田原わくわく音の祭典

第5回小田原城ミュージックストリート・秋の祭典が、秋晴れのすがすがしい日にめぐまれ、小田原城周辺をメイン会場として10月15日（土）、16日（日）に開催されました。

近郊からの方々も含めて多くの方が小田原城ミュージックストリートの音の祭典を楽しんだ。

飛び入り出演可能なフリーステージでは、飛び入り参加者が思う存分に自分の音を表現していた。



10の会場に約80の音楽グループ、そして学生を中心とした約20のダンスグループが近代ダンス（ヒップポップダンスなど）を披露しました。



ミュージシャンは、毎年行われる小田原城ミュージックストリートというフェスティバルを非常に楽しみにしていると言っていた。

あるミュージシャンは、グループの結成が、会社勤務の時に行われ定年を機に解散して各自ばらばらになつた、しかし誰からともなくバンドの再結成の動きが出てグループ結成にこぎつけた。

素人のバンドグループとして、自分たちの発表の場になっている、これからも絶やすことのないように小田原の秋の音楽祭典として根着いてほしいとのことであった。



裏方の準備、設営の方からは、もう少し予算があればもっと盛大に小田原城ミュージックストリートをアピールするよう準備、設営ができるのですが・・・・、今は自分たちの私物を持ち込んでミュージシャンが唄、音楽演奏に支障のないように準備、努力をしています、ということでした。  
(小田原市も財政が厳しい折、なやましいところですね)



ミュージシャンに対する印象は、非常にいいですね、時間通りに行動してくれます、とのことです。

一般聴衆の方からは、ミュージックストリートは小田原以外でも催されているが、こんなに大規模にミュージックをストリートで展開しているところはない、じつに楽しい、小田原市は、たいしたものだ、と言っていました。



小田原の「町おこし」は、なつといっても城（小田原城）を中心にして進めるべきです、その意味では、小田原城ミュージックストリートというのはいいですね。

しかし、この小田原城ミュージックストリートというフェスティバルの知名度は、まだまだ低いと思われます、聴衆の反応から判断すると、小田原の「町おこし」の一役として、この小田原城ミュージックストリートというフェスティバルは、いい催しイベントになると思います。PRを強化して多くの方々（小田原市の近郊、県外等からの人）がこのイベントに集まるように対策を練っていく必要性を感じます。

今ままをこれからも続けていくようでは「町おこし」の大きな力にはならないでしょう。

（5回目ですが、毎年同じような状況ですね、やり方等、改革が必要だと思います）